

事業名	医療機関等指導費		
細事業名	民間病院協会学術研究等助成事業費	財務コード	084405
担当部課室	福祉保健 部	医務 課	医療企画 担当 (内線) 3405

事業の概要

実施期間	始期 S50 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	補助(一般社団法人山梨県民間病院協会)		
事業の目的	だれ(何)を対象に 一般社団法人山梨県民間病院協会 会員病院関係者 県民	その対象をどのような状態にして 関係者の知識・技術等の資質が向上している 健康に関する不安が解消している	結果、何に結びつけるのか ・良質な医療の提供 ・県民の健康維持向上
	<p>事業概要</p> <p>急速な医療技術の進歩や高齢化の進展等に伴う疾病構造の多様化、住民の保健医療に対するニーズの増大等に対応するため、医療関係団体等における会員相互の資質向上を図り、地域医療の充実・発展に資することを目的に、山梨県民間病院協会が実施する学術研究事業等に対し助成する。</p> <p>補助対象事業</p> <p>(1)学術研究会の開催 (2)研修講座の開催 (3)県民の健康維持を目的とした事業の実施 (4)研究論文集等の発行 (5)県が推進する医療施策等に関する県民への情報提供</p> <p>実施主体:山梨県民間病院協会 補助率:1/2 基準額:2,880千円</p>		
事業の内容主にH26年度			
根拠法令等	山梨県民間病院協会学術研究等事業費補助金交付要綱		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と目標の実現度	25年度	26年度		27年度	28年度	事業目標の考え方	
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値		
活動指標	学術研究会発表及び研修講座の開催数	18	17	17	16	17	目標設定の考え方 過去3ヵ年平均 (18回+17回+16回)/3=17 データの出典等 事業実績報告書
	活動指標達成率(実績値/目標値)	100.0%					
成果指標	学術研究発表事例数	21	20	19	20	20	目標設定の考え方 過去3ヵ年平均 (21回+19回+20回)/3=20 データの出典等 事業実績報告書
	成果指標達成率(実績値/目標値)	95.0%					
決算額又は予算額(千円)	1,440		1,440	1,440	1,300	成果指標によらない成果 ・研修講座の開催は、医療従事者の資質の向上を図るための重要な機会となっている。 ・介護健康フェアや健康フェスティバルの開催では、県民への医療、介護、健康維持の情報提供を行うことで、健康に関する不安の解消に寄与している。	
うち一財額	1,440		1,440	1,440	1,300		
所要時間(直接分)	40 時間		40 時間	40 時間	40 時間		
所要時間(間接分)	0 時間		0 時間	0 時間	0 時間		
所要時間計	40 時間		40 時間	40 時間	40 時間		
人件費コスト 単位:千円 (@2,048円×所要時間)	82		82	82	82		

これまでの事業の見直し・改善状況

平成17年度包括外部監査における指摘を受けて、平成18年度以降は定額補助(1,440千円)から1/2定率補助(基準額2,880千円を上限)に見直しを行った。
 平成24年度内部評価において、民間病院協会が実施する事業項目に「県が推進する医療施策等に関する県民への情報提供」を追加し、県民への良質な医療の提供と県民の健康維持の向上が図られるよう、事業内容の見直しを行った。

活動量と成果の判断(平成26年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか (「活動指標の達成率」等から事業の活動量を判断)		
数値判定	活動量に係る一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 数値判定と一次評価が異なる場合等に記載すること
H26年度活動指標の達成率		
b	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上) b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満) c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)
d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)

(2) 事業は意図した成果を上げているか (「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)		
数値判定	成果に係る一次評価	成果に係る一次評価の考え方 必ず記載すること
H26年度成果指標の達成率		学術研究会の開催は多様な職種の学術研究を発表する貴重な機会であり、20件の目標に対しほぼ目標どおりの19件の発表ができています。 また研修講座の開催は、医療従事者の資質の向上につながるものであり、県民への良質な医療の提供に資するものとなっている。 さらに介護フェアや健康フェスティバルの開催を通じて、県民への医療、介護、健康維持等の情報提供を行うことにより、健康に関する不安解消に寄与しており、意図した成果をあげている。
b	b	

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上) b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満) c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満) d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)

見直しの必要性(平成28年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部局評価結果)		
見直しの必要性	説明	以外の判断項目
有	地域医療構想の策定や病床機能の転換など病院を取り巻く環境が変化しており、新たな医療提供に関する取り組みが求められていることから、研修講座や学術研究発表などの各事業で取り扱う内容の見直しが必要である。	m

・「以外の判断項目」の欄

a: 目的の達成 b: 新たな課題への対応 c: 対象の変化 d: ニーズの変化 e: 法律・制度の改正 f: 民間等実施 g: 市町村等へ移管 h: 外部委託
i: 経費削減 j: 類似事業と統合・連携 k: 所要時間の縮減 l: フォロウの改善 m: その他

二次評価(担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説明	以外の判断項目

・「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする

見直しの方向(平成28年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等 「見直しの必要性」と「見直しの方向」が異なる場合は、その理由も記載すること
縮小	新たな医療提供体制に関する取組についての研修講座や学術研究発表を実施していくなど、病院を取り巻く環境の変化に対応した内容等への見直しを行い、会員相互の資質の向上を図っていくとともに、効率的な実施方法に見直す中で、経費削減を図る。

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること
 ・見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること